

教科の概要（英語）

I. 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動 及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

II. 観点別評価の規準と基準

規 準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	十分満足できる		
	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて 適切 に活用できる技能を身につける。 【概ね達成率 80%以上】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を 的確 に理解したり、これらを活用して 適切 に表現したり伝え合ったりする。 【概ね達成率 80%以上】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、 主体的、自律的に 英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 【概ね達成率 80%以上】 ※ 主体的: 未知なることに自ら取り組む態度 ※ 自主的: 与えられたことに積極的に取り組む態度
B	おおむね満足できる		
	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につける。 【概ね達成率 35%以上】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする。 【概ね達成率 35%以上】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 【概ね達成率 35%以上】
C	努力を要する		
	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解をさらに深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて活用できる技能を身につける必要がある。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常及び社会的な話題について、英語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図を理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりする必要がある。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う必要がある。

(別表4)

I 授業の概要

教科	外国語	科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	年次	1 学年
使用教科書	Blue Marble English Communication I (数研出版)						
副教材等	Data Base 4500 英単語・熟語 (桐原書店)						

1. 学習の目標

(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。

(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 3 観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の聞くこと、読むこと、話すこと、書くことについて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA, 「おおむね満足できる」場合はB, 「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期テスト、週テストなど。	定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。	授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み

1. 学習内容

1 学期	Lesson 1: Friendships in the Digital Age Lesson 2: Expos: Past, Present, and Future Lesson 3: The Fascinating World of a Professional Storyteller
2 学期	Lesson 4: Changing Behavior in Unique Ways Lesson 5: A Journey to Peace Lesson 6 Humans Evolve with Measurements Lesson 7: Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Lesson 8: What to Do with Too Many Tourists
3 学期	Lesson 9: Surviving in the Information Age Lesson 10: The Spirit of Zen: Less is More

2. 学習方法

プリントを用いて授業を行います。本文を聞いたり読んだりして理解し、その内容に対して自分の意見を英語で表現し、ペア・グループやクラス全体で意見交換する活動が主になります。
単語の週テストも行われます。

(別表4)

III. 授業の概要

教科	外国語	科目	論理表現	単位数	2	年次	1
使用教科書	NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)						
副教材等	総合英語 Evergreen English Grammar 30 Lessons updated (いっずな書店)						

2. 学習の目標

- 1) 外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの理解を深めるとともに, これらの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 2) コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図などを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3. 3 観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙, 表現, 文法, 言語の働きなどの知識を, 聞くこと, 読むこと, 話すこと, 書くことによる実際のコミュニケーションにおいて, 目的や場面, 状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面, 状況などに応じて, 日常的な話題や社会的な話題について, 外国語で情報や考えなどの概要や要点, 詳細, 話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり, これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め, 聞き手, 読み手, 話し手, 書き手に配慮しながら, 主体的, 自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上記の規準に対して, 「十分満足できる」場合はA, 「おおむね満足できる」場合はB, 「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期テスト, 単元テスト, 観察・実験のレポート等	定期テスト, 単元テスト, 観察・実験のレポート, プレゼンテーション等	授業の臨む姿勢や自己振り返り, プレゼンテーションや主体的な取り組み

4. 学習内容

1 学 期	Unit1 Lesson1	Lesson5
	Lesson2	Lesson6
	Lesson3	Lesson7
	Lesson4	Lesson8
2 学 期	Unit1 Lesson9	Unit2 Lesson1
	Lesson10	Lesson2
	Lesson11	Lesson3
	Lesson12	Lesson4

5. 学習方法

- 各 Lesson の予習
- 各 Lesson の復習
- プレゼンテーションへの取り組み
- 授業への積極的参加

(別表 4)

3 学 期	Unit2 Lesson5	
	Lesson6	
	Lesson7	
	Lesson8	

(別表4)

I 授業の概要

教科	英語	科目	総合英語 I	単位数	5	年次	1 学年
使用教科書	Blue Marble English Communication I (数研出版) NEW FAVORITE English Logic and Expression I (東京書籍)						
副教材等	Data Base 4500 英単語・熟語 (桐原書店) 総合英語 Evergreen English Grammar 30 Lessons updated (いっずな書店)						

1. 学習の目標

(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。

(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 3 観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の聞くこと、読むこと、話すこと、書くことについて、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 英語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを英語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA、「おおむね満足できる」場合はB、「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期テスト、週テストなど。	定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。	授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み

6. 学習内容 ※はNEW FAVORITE を使用

1 学期	Lesson 1: Friendships in the Digital Age Lesson 2: Expos: Past, Present, and Future Lesson 3: The Fascinating World of a Professional Storyteller ※Unit 1 Lesson 1 ~ 10
2 学期	Lesson 4: Changing Behavior in Unique Ways Lesson 5: A Journey to Peace Lesson 6 Humans Evolve with Measurements Lesson 7: Bio-logging: Discovering Animals' Secrets Lesson 8: What to Do with Too Many Tourists ※Unit 1 Lesson 11 ~ Unit 2 Lesson 3
3 学期	Lesson 9: Surviving in the Information Age Lesson 10: The Spirit of Zen: Less is More ※Unit 2 Lesson 4 ~ Lesson 8

7. 学習方法

プリントを用いて授業を行います。本文を聞いたり読んだりして理解し、その内容に対して自分の意見を英語で表現し、ペア・グループやクラス全体で意見交換する活動が主になります。

単語の週テストも行われます。

(別表4)

I 授業の概要

教科	英語	科目	ディベート・ディスカッション I	単位数	2	年次	1 学年
使用教科書	GLOBAL ISSUES - An Introduction to Discussion Skills -						
副教材等	なし						

1. 学習の目標

(1) 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする。

(3) 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

2. 3 観点の評価規準

規 準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理し、要点や意図、論理の展開などを明確にしながら、英語で適切に表現したり伝え合ったりする。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
上記の規準に対して、「十分満足できる」場合はA, 「おおむね満足できる」場合はB, 「努力を要する」場合はCとして評価する		
評 価 方 法		
定期テスト、週テストなど。	定期テスト、週テスト、パフォーマンステストなど。	授業の臨む姿勢や自己振り返り、プレゼンテーションや主体的な取り組み

8. 学習内容

1 学期	Unit 1: How to discuss opinions Unit 2: How to ask questions Unit 3: How to agree or disagree Presentation based project①
2 学期	Unit 4: How to give yourself time to think Unit 5: How to support Unit 6: How to continue discussion reasons Presentation based project②
3 学期	Unit 7: How to expand your answer Unit 8: How to deal with suggestions Acting & Performance Project

9. 学習方法

- 各レッスンにディスカッションあり。
- パフォーマンス評価（ライティング・スピーキング）
- 毎学期1つのプロジェクトがあり。
- 授業態度（クラスでの貢献度、積極的な発言など）も評価対象。